

# 平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

## 第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Gコート 第3試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

チームA		18 - 18 11 - 24 13 - 15 13 - 25		チームB
<b>英明</b>	<b>55</b>		<b>82</b>	<b>常葉学園</b>
香川				静岡

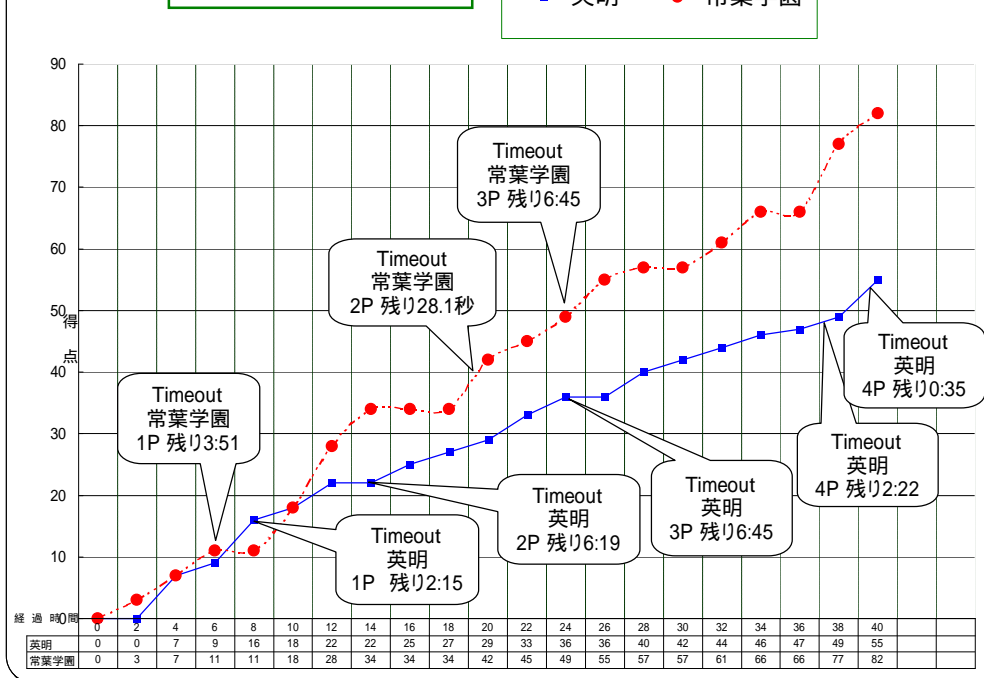
### 英明

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	東原 綾那	X	3	1	7	0	5	0	0	5	3	9	5	0	2	0	39
5	三谷 彩	X	18	0	0	6	17	6	6	3	4	5	7	2	1	2	40
6	登倉 美幸	X	17	3	7	4	12	0	0	5	0	2	2	10	0	2	36
7	池田 千紜	X	2	0	3	1	8	0	0	1	2	5	6	1	1	1	36
8	高木 明日加	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
9	田中 あゆみ	X	15	0	0	5	16	5	6	1	5	4	3	1	0	0	40
10	川田 舞華	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11	高尾 法子	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
12	堤 智依	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	川 染 友季	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	三谷 沙知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	古川 彩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	井上 晃	/	/	/	/	/	/	/	/	0	3	10	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場	55	4	17	16	58	11	12	15	17	35	24	14	4	5			200
確率	23.5%			27.6%				91.7%									計 52

### 常葉学園

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	風間 緑	X	22	2	7	7	14	2	2	3	1	8	3	5	6	2	40
5	西野 いずみ	X	31	2	4	10	22	5	10	0	3	4	6	1	3	1	32
6	松村 圭織	/	2	0	0	1	3	0	0	1	0	2	0	1	0	0	7
7	りゅう 虹	X	10	2	4	2	7	0	1	2	3	7	4	3	0	1	33
8	小杉 あずさ	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9	小林 理央	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	本目 紗和子	/	1	0	0	0	3	1	2	0	1	0	1	1	1	0	8
11	坂元 美沙季	X	2	0	4	0	6	2	2	3	1	3	3	1	1	0	37
12	入澤 唯加	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	佐野 あすか	X	12	0	0	6	11	0	0	4	7	7	4	3	2	3	39
14	錦織 静花	/	2	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
15	原 佑理子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	小前 宏史	/	/	/	/	/	/	/	/	0	7	7	/	/	/	/	/
出場: ×は先発、/は出場	82	6	19	27	68	10	17	13	24	38	21	15	13	7			200
確率	31.6%			39.7%				58.8%									計 62

### 2分毎による得点の推移



### 戦評

13年連続20回目、昨年度ベスト16の英明、10年連続16回目、昨年度ベスト8の常葉学園と、インターハイ常連校同士の対戦となったが、両チームともに下級生が中心であり、また上級生がどうゲームをコントロールするのか等見所の多いゲームは、スタート直後から速い展開でシュートに持っていくという、トラジションの激しい展開で始まった。英明は#5三谷#6登倉を中心に攻撃を展開するのに対し常葉学園は、#5西野が積極的にゴール下に切り込み得点を重ねるといふ展開で第1Pは18対18で終わった。第2Pに入ると常葉学園は#4風間の得点も加わり、#5西野と二人で連続ゴールを決める場面が多くなった。英明は第1P同様#5三谷#6登倉が積極的にシュートに持ち込むが得点にならず29対42と点差を広げられてしまった。後半に入り英明も積極的なディフェンスから攻撃を仕掛けるが常葉学園の勢いを止めることは出来なかった。第4Pに入っても常葉学園の攻撃は続き大きく点差を広げていった。英明は#9田中が頑張り得点を重ねたが、勝敗の流れを変えるにはいならず、55対82で常葉学園の勝利となった。負けはしたものの、英明の選手全員が最後までボールを追う姿は今後の活躍を期待させるには十分であった。

主審	北澤 秀夫	副審	田島 直樹	戦評	高橋 弘俊 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット